

F-Secure Client Security Standard & Premium 15 Series

Install Guide

エフセキュア株式会社



● 免責事項

本書は、本書記述時点の情報を基に記述されており、特に断りのない限り、本書内の記述は、本書記載時の製品のバージョンを基にしております。例の中で使用されている会社、名前およびデータは、別途記載のない限り架空のものとなります。

エフセキュア株式会社（以下、弊社）は、本書の情報の正確さに万全を期していますが、本書に記載されている情報の誤り、脱落、または、本書の情報に基づいた運用の結果について、弊社は、如何なる責任も負わないものとします。本書に記載されている仕様は、予告なく変更する場合があります。

● 商標

F-Secure および三角形の記号はエフセキュア株式会社の登録商標です。また、弊社の製品名および記号／ロゴは、いずれも弊社の商標です。本書に記載されている全ての製品名は、該当各社の商標または登録商標です。弊社では、自社に属さない商標および商標名に関する、いかなる所有上の利益も放棄します。

● 複製の禁止

本書の著作権は弊社が保有しており、弊社による許諾無く、本書の一部であっても複製することはできません。また、譲渡もできません。

● お問い合わせ

弊社は常に資料の改善に取り組んでいます。そのため、本書に関するご質問、ご意見、ご要望等ございましたら、是非 japan@f-secure.co.jp までご連絡ください。

1. リリースノートをご覧頂き、対象端末が Client Security (Standard & Premium)の動作要件を満たしているかご確認ください。

[\[Client Security \(Standard & Premium\) リリースノート\]](#)

[\[Client Security \(Standard & Premium\) 管理者ガイド\]](#)

2. 以下のサイトよりインストールパッケージをダウンロードします。

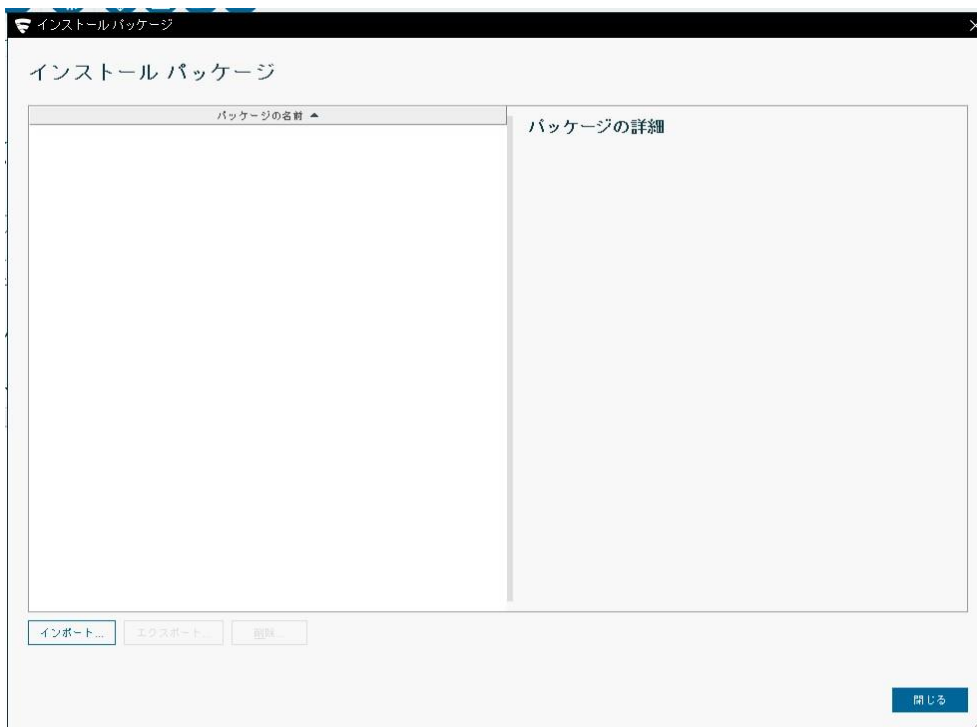
[\[Client Security \(Standard & Premium\) ダウンロード\]](#)

3. Policy Manager Console を起動し Policy Manager にログインします。

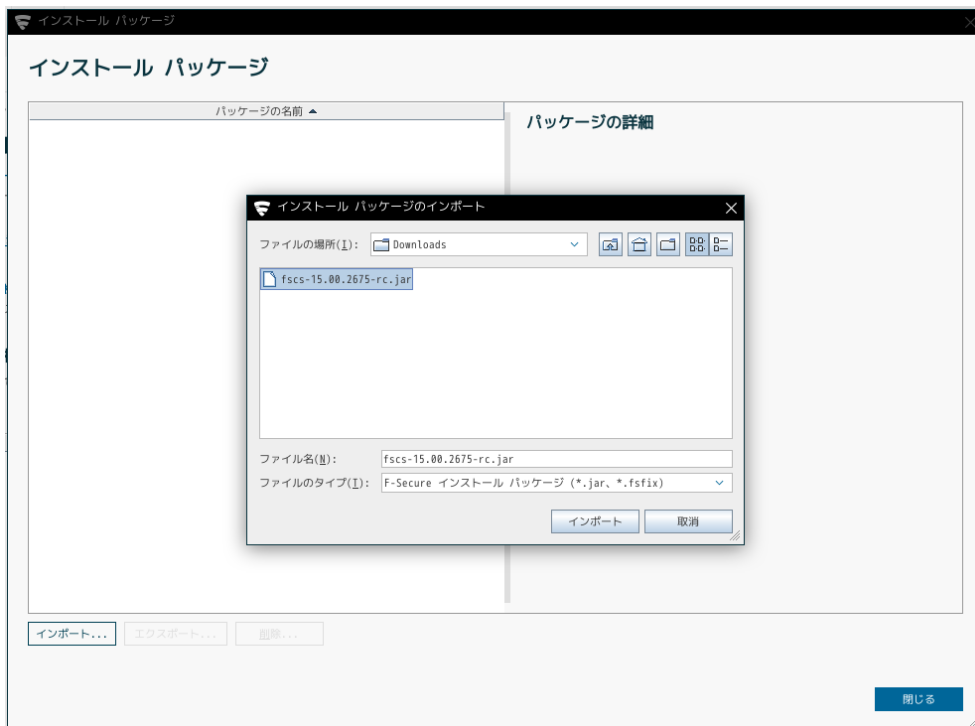
4. インストール>インストールパッケージをクリックします。



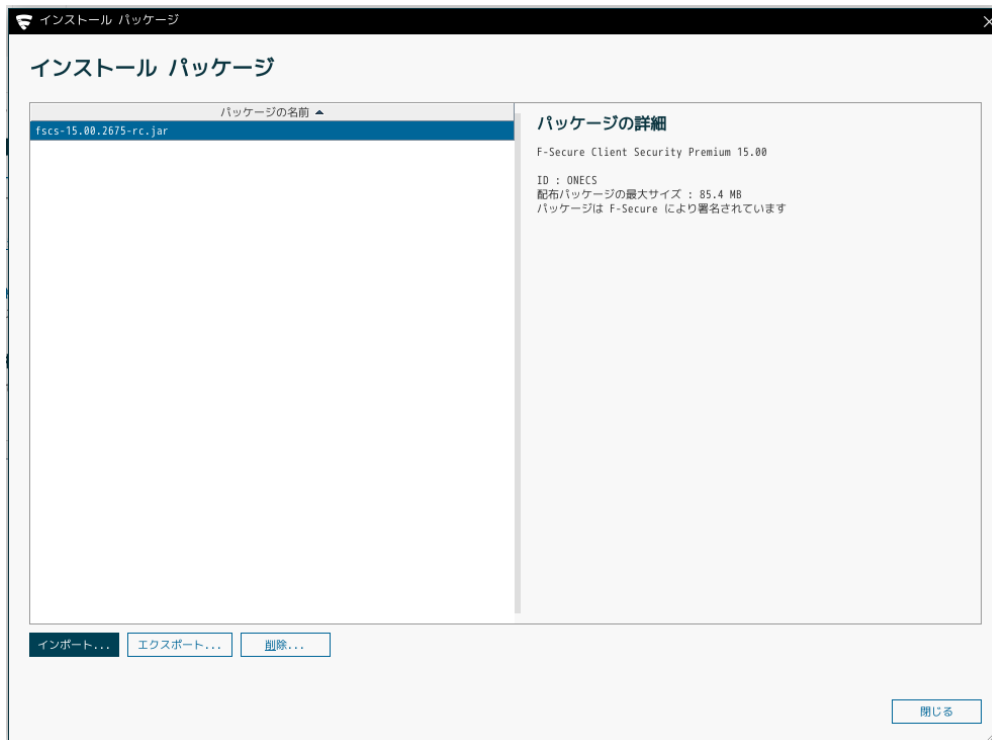
5. [インポート]を押します。



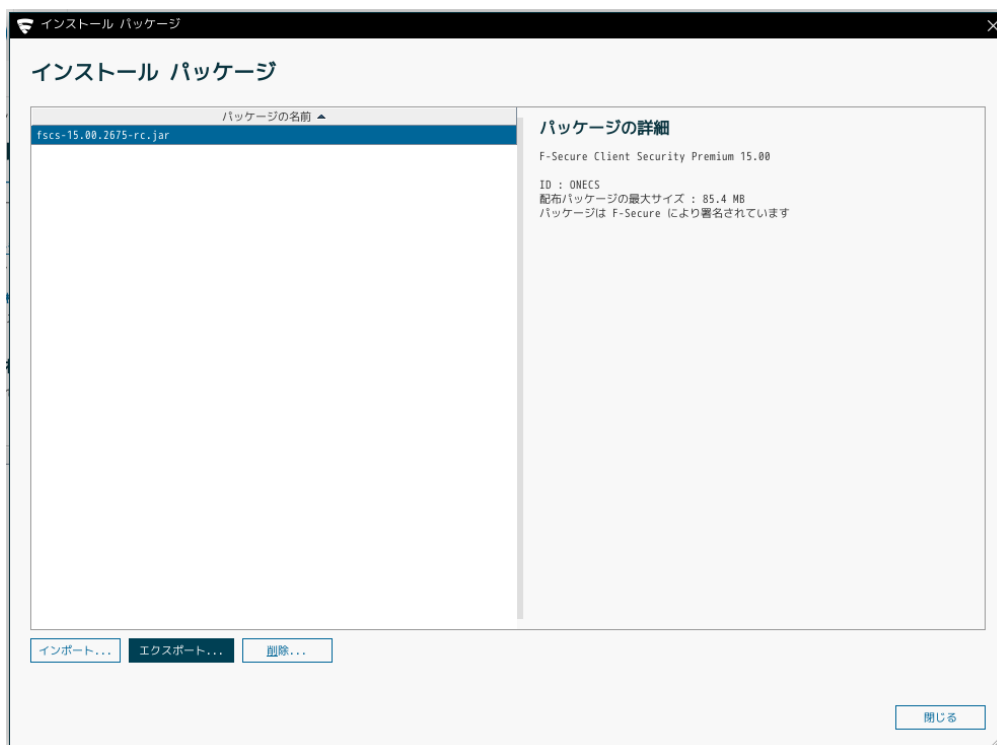
6. 手順2でダウンロード頂いたインストールパッケージを選択し[インポート]を押します。



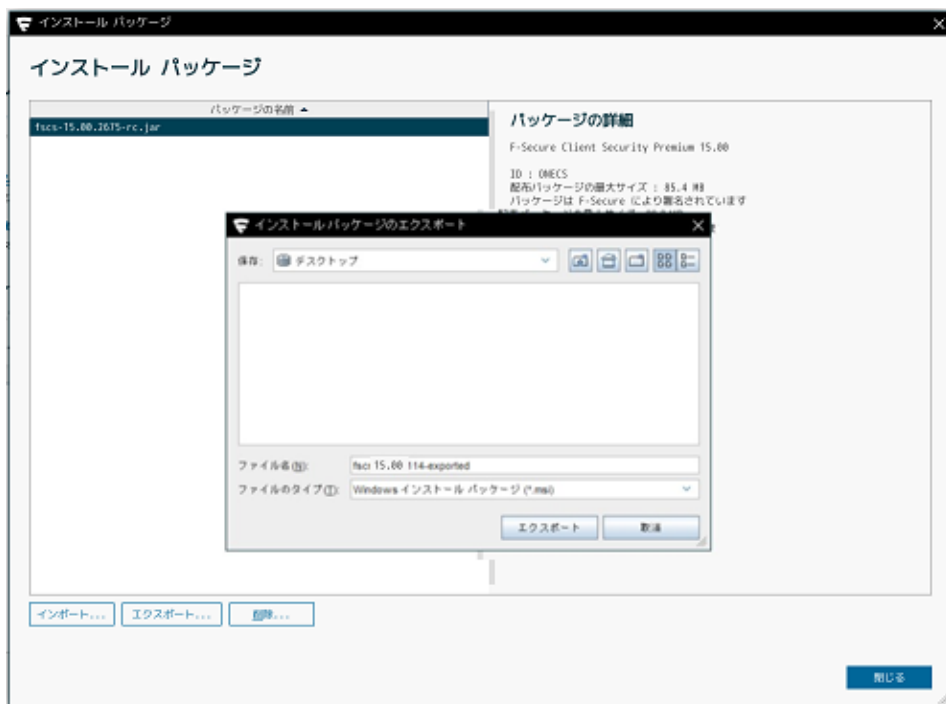
7. インポートプログレスバーの表示が無くなり、パッケージの名前一覧にインポート頂いたパッケージ名称が表示されていることを確認します。



8. 対象パッケージを選択し[エクスポート]を押します。



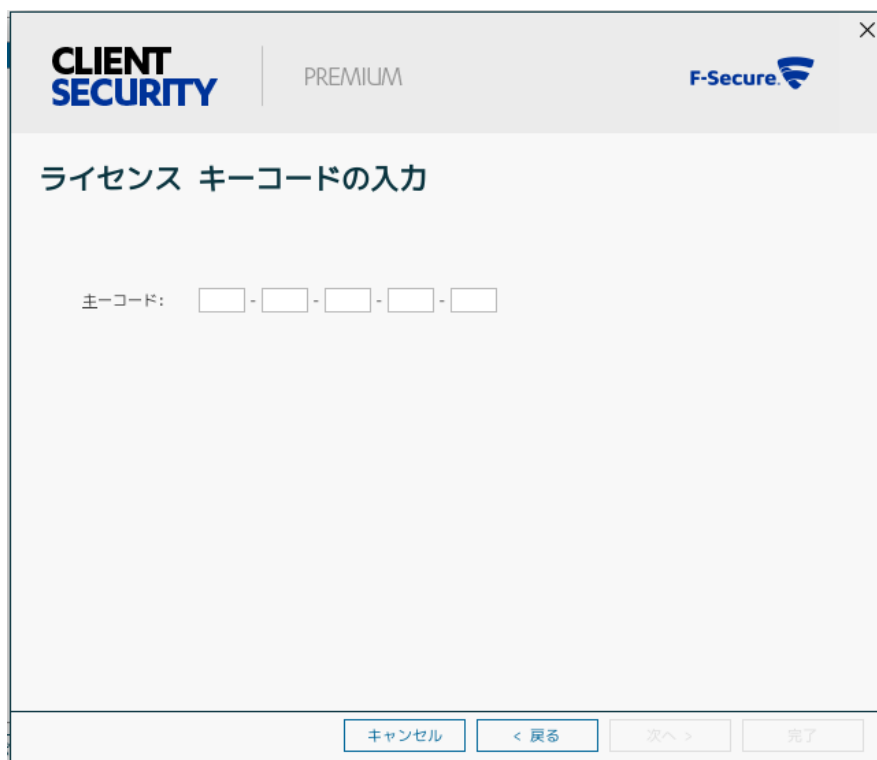
9. 作成したインストーラを配置するフォルダを指定し[エクスポート]を押します。



10. リモートインストールウィザードが表示されましたら[次へ]を押します。



11. ライセンスキーコードを入力頂き[次へ]を押します。



The screenshot shows a window titled "CLIENT SECURITY PREMIUM" with the F-Secure logo. The main heading is "ライセンス キーコードの入力" (License Key Code Input). Below this, there is a label "キーコード:" followed by five empty input boxes separated by hyphens. At the bottom, there are four buttons: "キャンセル" (Cancel), "< 戻る" (Back), "次へ >" (Next), and "完了" (Finish).

12. インストールする機能を選択します。



The screenshot shows a window titled "CLIENT SECURITY PREMIUM" with the F-Secure logo. The main heading is "インストールする機能を選択します" (Select features to install). Below this, it says "F-Secure Client Security の機能:" (Features of F-Secure Client Security). There are two checked checkboxes: "ブラウザ保護" (Browser Protection) and "ファイアウォール" (Firewall). At the bottom, there are four buttons: "キャンセル" (Cancel), "< 戻る" (Back), "次へ >" (Next), and "完了" (Finish).

13. 製品の言語を選択して[次へ]を押します。



14. 他のポリシーグループ・端末の設定をインストーラに含める場合には、ポリシーの対象を選んでから [次へ]を押します。



デフォルトポリシー:

デフォルト設定値にてインストーラを作成される場合に選択します。

ポリシーの対象:

既に管理対象のインストール済み端末が存在し、そのポリシーグループや端末と同一設定にてインストーラを作成される場合に選択します。

15. Policy Manager との通信設定を行い[次へ]を押します。

CLIENT SECURITY PREMIUM F-Secure

ポリシー マネージャとの通信を設定する

ポリシー マネージャ サーバのアドレスを指定してください。サーバの IP アドレス、WINS または DNS 名を使用できます。HTTPS または HTTP 通信のホスト ポートも指定して、環境に応じて接続先のホストの識別方法を選択できます。

ポリシー マネージャ サーバのアドレス: 192.168.213.167

HTTP ポート: 80

HTTPS ポート: 443

ホストを認識する: SMBIOS グローバル一意識別子

キャンセル < 戻る 次へ > 完了

ポリシーマネージャサーバのアドレス: 接続先ポリシーマネージャサーバのアドレスを入力します。名前解決が可能な場合にはコンピュータ名や FQDN で入力頂けます。また、Policy Manager が稼働するサーバ機が固定 IP アドレスの場合には、IP アドレスでの入力をお勧めします。

HTTP ポート:

Policy Manager のインストール時に指定されたホストモジュール(HTTP ポート)をご指定ください。

HTTPS ポート:

Policy Manager のインストール時に指定されたホストモジュール(HTTPS ポート)をご指定ください。

ホストを認識する:

Policy Manager が各ホストを認識する為に割り振られる UID の割り振り方法について指定します。通常ではデフォルト値の“SMBIOS グローバル一意識別子”で結構でございます。

16. Policy Manager のドメインツリーに簡単にインポートする為のカスタムプロパティを設定できます。Policy Manager 側でインポートルールにカスタムプロパティを設定されている場合には、プロパティ名・プロパティ値を登録して[次へ]を押します。未設定の場合にはそのまま[次へ]を押してください。

CLIENT SECURITY PREMIUM F-Secure

ホストのカスタム プロパティを入力してください

製品をホストにインストールし、F-Secure ポリシー マネージャに接続する場合、ホストにカスタムのプロパティを設定することでポリシー ドメイン ツリーを簡単にインポートできます。コンソールで新しいホストをインポートするときに使用するカスタム プロパティを入力してください。

不要な場合、[次へ] をクリックしてください。

プロパティ名	プロパティ値
--------	--------

追加 編集 削除

キャンセル < 戻る 次へ > 完了

17. 通常、“競合ソフトウェアをアンインストールする(推奨)”はチェックされたままで[次へ]を押します。

CLIENT SECURITY PREMIUM F-Secure

競合ソフトウェア

インストール中に検出された競合ソフトウェアの処理方法を選択します。

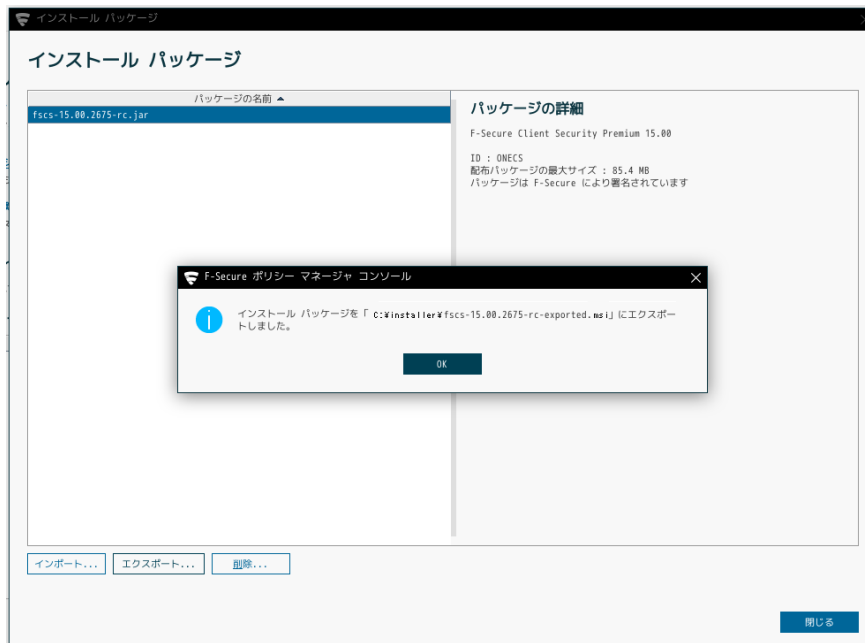
競合ソフトウェアをアンインストールする(推奨)

キャンセル < 戻る 次へ > 完了

18. 再起動が必要な場合の再起動オプションを設定し[完了]を押します。



19. インストーラが作成完了となりますと以下の画面となりますので[OK]を押した後に[閉じる]からインストールパッケージ画面を閉じてください。



20. エクスポートされたインストーラを用いて各ホストへインストールをお願いいたします。